

令和7年度 学校における働き方改革の取り組みについて

上田市長和町中学校組合立依田窪南部中学校

1 学校における働き方改革の今年度の目標・取り組みの具体

(1) 今年度の目標	・年間を通じて、時間外勤務時間「1ヶ月平均45時間以下」を目指す。 ・緊急時およびやむを得ない場合を除き、19:00以降の勤務を減らす。 ・留守番電話の導入を図る。
(2) 今年度の取組の具体	・効 率 化：校務支援システムの活用・ICTの有効活用・ペーパーレス化 ・分 業 化：業務分担の推進・チーム体制での生徒指導・支援・教員業務支援員の活用 ・環境改善：週日課の工夫（学級等事務日の設置・定時退勤日（毎週水曜）） ・会議の精選

2 令和7年度勤務状況等の状況および具体

(1) 勤務状況の把握方法	・校務支援システムC4thを利用した在校時間の客観的計測
(2) 時間外勤務時間が1ヶ月45時間以上の教職員についての対応	・校長および教頭の声かけ ・業務内容についての確認・分業の推進 ・業務内容の効率化と分業と環境改善の推進の実施の提案 ・医師による面接指導
(3) 取り組みの状況	①学校安全衛生委員会を教務会内に設置し（12回予定）、作業管理・健康管理・作業環境管理などについて、話題を共有し勤務時間や労働環境等について改善を行っている。 ②夏期（8/9～8/17）・冬期（12/29～1/4）に学校閉庁日を設け、職員の心身のリフレッシュを図っている。また年次休暇が取りやすい環境づくりを心がけている。 ③ICT利用による業務の効率化（校務支援システムによる情報共有・ペーパーレス化・生徒の情報管理）を実施している。 ④教育業務支援員配置による教職員の事務処理の軽減を行っている。 ⑤週1日（水）の定時退庁日の設置や学級事務および成績処理等が行えるよう学期末の5時間授業の実施やテスト日課やテスト実施の方法等の工夫をしている。 ⑥職員会議の協議内容の精選をし短時間で終了できるようにしている。 ⑦部活動における県・市の指針を基に年間活動計画を立案し推進している。部活動外部指導者と連携を図り部活動運営を実施している。